

2026年度 第62回全国社会人サッカー選手権大会四国大会 実施要項

- | | | |
|----|-----------|--|
| 1 | 名 称 | 第62回全国社会人サッカー選手権大会四国大会 |
| 2 | 主 催 | 四国社会人サッカー連盟 (一社)四国サッカー協会 |
| 3 | 主 管 | 徳島県社会人サッカー連盟 (一社)徳島県サッカー協会 |
| 4 | 協 賛 | 株式会社 モルテン |
| 5 | 開 催 期 日 | 2026年6月20日(土)、6月21日(日) |
| 6 | 競 技 会 場 | 徳島市球技場メイン・サブ 鳴門・大塚スポーツパーク球技場 |
| 7 | 参 加 資 格 | 2026年度公益財団法人日本サッカー協会及び一般財団全国社会人サッカー連盟に登録された、第1種(準加盟を含む)チームにあって、次の条件に従う。
(1) J1リーグ、J2リーグ、J3リーグ、JFL、大学連盟、高専連盟、専門学校連盟に加盟したチームは除く。
(2) 外国籍選手の登録は、1チーム3名以内とする。但し「JFAのプロサッカー選手の契約、登録及び移籍に関する規則」の条件に該当する場合は、この3名を超えて登録できるものとするが、何れの場合も外国人籍選手の登録人数は、5名を超えてはならない。(準加盟チームは除く)
※同一試合には、3名が同時に試合に出場することができる。
(3) 大会参加申込期限までに、参加申込書に記載された選手。
※公益財団法人日本サッカー協会が登録を承認した選手
(4) 選手資格に疑義がある場合は、あらかじめ四国社会人サッカー連盟の意見を求める。
なお疑いのある場合は全国社会人サッカー連盟に意見を求め四国社会人サッカー連盟がこれを裁定する。
(5) 公益財団法人日本サッカー協会により「クラブ申請」を承認された「クラブ」に所属するチームについては、同一「クラブ」内のチームに所属する選手を移籍手続きを行うことなく参加させることができる。この場合、同一「クラブ」内のチームであれば、複数のチームから選手を参加させることも可能とする。但し、適用対象となる選手の年齢は第2種年代のみとし、同一「クラブ」内の2種登録チームから選手を参加させることができる。第1種・シニアの年代の選手は適用対象外とする。
但し、2種登録選手は3名までエントリーを認め、3名が出場できる。
(6) 予選から本大会に至るまでに、同一選手が異なるチームへ移籍後、再び同一大会に参加することはできない。 |
| 8 | 試 合 形 式 | 各県2チーム参加の8チームによるノックアウト方式により、四国代表2チームを決定する。
※4チームの2ブロックで代表決定戦を行う。 |
| 9 | 競 技 規 則 | 大会実施年度の公益財団法人日本サッカー協会「サッカー競技規則」による。 |
| 10 | 競 技 会 規 定 | (1) 競技者の数
① 競技者の数:11名
② 交代要員の数:8名以内
③ 交代を行うことができる数:5名以内(※交代回数はハーフタイムを除き、3回までとする。)
④ 脳震盪による交代(再出場なし)の追加について
a. 1試合において、各チームは最大1人の「脳震盪による交代」を使うことができる。
b. 「脳震盪による交代」は、その前に何人の交代要員が使われているかにかかわらず、行うことができる。
c. 「脳震盪による交代で入る交代要員」が使われたならば、相手チームは(脳震盪に限らず)いかなる理由であっても「追加の交代要員」を使うことができる。
d. 脳震盪で交代した選手で、脳震盪でなかったことが医師の診断書で証明できる場合に限り次戦の出場を認める。 |

- (2) 役員の数
チームベンチに入ることができる役員の数:6名以内
- (3) テクニカルエリア:設置する。戦術的指示はテクニカルエリア内からその都度ただ1人が伝えることができる。
- (4) 競技者の用具
- ①ユニフォーム
- a. 大会実施年度の公益財団法人日本サッカー協会「ユニフォーム規定」による。
- b. ユニフォーム(シャツ、ショーツ、ストッキング)は、正の他に副として、正と色彩(濃淡)が異なり判別しやすいユニフォーム色彩を参加申込書に記載し、各試合に必ず携行すること。シャツの色彩は審判が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならぬ。
- c. ユニフォームに他のチーム(各国代表・プロクラブチーム等)のエンブレム等が付いているものは着用できない。
- d. ユニフォームへの広告表示については、公益財団法人日本サッカー協会「ユニフォーム規定」に基づき承認された場合のみこれを認める。尚、会場によって広告掲出料が発生する場合は、チーム負担とする。
- e. ソックスの上にテープやバンテージを巻く、あるいはアングルサポーター等を着用する場合、そのテープ等の色はストッキング(ソックス)の色と同色とする。
- f. 選手番号は、ユニフォームのシャツが縞(縦縞も横縞も)の場合は、服地と明確に区別し得る色彩のものでなければならぬ。
- g. 本競技会に登録した正・副2組のユニフォーム(シャツ、ショーツ及びソックス)を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。
- h. 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チーム立ち合いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
- i. 前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
- ②装身具:一切の装身具の着用を禁止し、装身具を覆うテープの使用も不可とする。
- (5) 試合時間
- ①試合時間:80分(前・後半40分)
- ②ハーフタイムのインターバル:原則として10分(前半終了から後半開始まで)
- ③試合時間内で勝敗が決定しない場合は、PK方式により勝者を決定する。
- ④PK方式に入る前のインターバル:3分
- ⑤アディショナルタイムの表示:実施する。
- (6) その他
- ①第4の審判員:任命する。
- ②負傷者の対応:主審が認めた場合のみ、最大2名ピッチへの入場を許可される。
- ③チームベンチ:ピッチ上本部からフィールドに向かって
左側・・・対戦表の左に記載されているチーム
右側・・・対戦表の右に記載されているチーム
- 11 懲 罰 (1) 本大会とそれに繋がる都道府県大会は懲罰規定上の同一競技会とみなし、都道府県大会終了時点での退場による未消化の出場停止処分は本大会において順次消化する。
- (2) 本大会に繋がる都道府県大会における警告の累積は、都道府県大会で消滅し、本大会に影響を及ぼさない。本大会代表決定戦での退場による出場停止処分は必ず全国大会の初戦で消化する。
- (3) 本大会期間中に警告を2回受けた選手・チーム役員は、直近の本大会1試合に出場できない。なお、本大会期間中に科せられた警告の累積は他大会には影響を及ぼさない。

- (4) 本大会において退場を命じられた選手・チーム役員は、自動的に直近の本大会1試合に出場できず、それ以降の処置については大会規律委員会において決定する。
- (5) 本大会において他大会等の出場停止処分を消化する場合は、事前に書面にて大会事務局まで提出しなければならない。
- (6) 出場停止処分を受けた者は、試合が終了するまで制限される区域には立ち入ることは出来ない。
- (7) 本大会は日本サッカー協会懲罰規程に則り、大会規律委員会を設け、委員長は四国社会人サッカー連盟委員長とし、委員については委員長が決定する。
- (8) 本大会の規律問題は、公益財団法人日本サッカー協会の懲罰規程に従い、大会規律委員会で協議し、四国サッカー協会規律・裁定委員会で決定する。

- 12 参加申込 (1) 参加チームは、下記①～③の書類に必要事項を記入のうえ、期日までにデータで送信先に申し込むこと。
- ①大会参加申込書 ※エクセルファイル
 - ②メンバー提出用紙 ※エクセルファイル
 - ③プライバシーポリシー同意書(サインまたは捺印したもの) ※PDFファイル
 - ④懲罰処分(出場停止処分)対象者連絡書 ※PDFファイル(該当チームのみ)
- ※ファイルに必ずチーム名をつけてください。
- 又、第1代表 or 第2代表 をあわせて、ご連絡ください。例:四国FC(〇〇県第1代表)
【データ送信先】徳島県社会人サッカー連盟 大会事務局
- (2) 【申込期日】 6月12日(金)PM10:00必着
- (3) 選手の参加申込み人数は16名以上30名以下とする。※役員は11名以内とする。
監督が選手として出場する場合は、選手に含まれていなければならない。
- (4) 参加申込書は、背番号の若い順に記入し、ポジションについてはGK・DF・MF・FWと必ず記入すること。(フリガナは全角で入力のこと)
※メンバー提出用紙のスタッフ記入欄に記載のない役員、スタッフは試合当日チームベンチに入れません。当日の変更も不可とします。記載漏れの無いよう御注意ください。
- (5) 参加申込書提出後における選手エントリー等の変更は、一切認めない。
- 13 参加料 1チーム 35,000円とし、申込期日までに下記口座に振込にて納入すること
- 14 選手証 各チームの登録選手は、KICKOFFより写真が貼付された電子登録証の登録選手一覧表(背番号順)をプリントアウトし持参すること。
ただし電子登録証(写真が登録されたもの)が確認できる場合は、出場を認める。
- 15 監督主将会議 監督主将会議は行わないので、要項を熟読しておくこと。
組合せ抽選会は、四国社会人サッカー連盟運営委員会にて決定済。
- 16 開閉会式 開会式:行わない。
閉会式:代表決定戦終了後、代表チームに表彰状を授与する。
- 17 経費 大会参加に要する経費は、全額参加者の負担とする。
- 18 傷害保険 大会会場において疾病・傷害が発生した場合、大会主催者側は一切の責任を負わない。
参加者は健康保険証を持参し、スポーツ傷害保険等に加入していることが望ましい。
徳島県社会人サッカー連盟は、試合会場での応急処置のみを行う。
緊急を要する場合は、救急車の手配をするとともに現場で可能な範囲で対応をする。
- 19 その他 (1) 大会規定に違反し、その他不都合な行為のあった時は、そのチームの出場を停止する。
(2) 本大会の四国代表2チームは、2026年10月24日(土)から宮崎県で開催される第62回全国社会人サッカー選手権大会への参加の権利と義務を有する。
(3) 宿泊及び弁当の斡旋はいたしません。各チームにて手配をお願いします。
(4) 落雷等自然災害の発生時においては、大会本部の判断により試合を中止することがある。中止された試合については再試合を原則とするが、別途定めるところにより、

勝敗を決定する。

【急激な天候不順等による対応方法】

- ① 雷鳴があった場合は20分間の中断
- ② 中断中に再び雷鳴があればそこから20分間の中断
- ③ 中断時間の累計が60分になれば試合中止

※集中豪雨等で試合が出来ない時も中断時間の累計が60分になれば試合中止

※WBGTの数値が31以上になった場合も同様とする

【追記】

※中断後の天候に問題がないと判断した場合は10分間のアップ時間を取り試合再開とする

※アップ時間中に再び落雷があった場合はそこから20分間の中断

《中止後の勝敗の決定方法》

◇前半の途中で中止が決定した場合 → 不成立(抽選により勝敗を決める)

◇前半終了後に中止が決定した場合 → 成立(その時点での点差で決定する)

※同点の場合は抽選で勝敗を決める

- (5) 各チームは、フィールドプレーヤーのユニフォームの色と異なるビブスを2色準備
お願いします。カメラマンがいる場合は3色お願いします。
アームバンド(キャプテンマーク)もチームで用意をお願いします。
- (6) 本大会要項に規定されてない事項等については、本大会実施委員会において協議
の上決定する。

お問い合わせ先

徳島県社会人サッカー連盟 委員長 川西哲也